



No.40

平成26年1月31日発行

南あわじ市

議会だより



10月の選挙で選ばれた 18名の議員

主な内容

11月臨時会の結果	2 ~ 4
12月定例会の結果	5 ~ 10
一般質問	11 ~ 17
12月臨時会の結果	18

編集 南あわじ市議会広報広聴常任委員会

発行 南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27

TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105 E-mail gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市ホームページ <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

新しい委員会の構成

◎=委員長、○=副委員長。名前は写真左上から掲載。

総務建設常任委員会



熊田 司 廣内孝次 森上祐治 北村利夫 砂田杲洋
中村三千雄 ◎蛭子智彦 ○長船吉博 登里伸一

【所管事務】 市長公室、総務部、財務部、都市整備部、下水道部、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に属する事項と他の常任委員会の所管に属さない事項

産業厚生常任委員会



柏木 剛 吉田良子 木場 徹 原口育大
阿部計一 ◎印部久信 ○谷口博文 川上 命

【所管事務】 市民生活部、健康福祉部、産業振興部、農業振興部、教育委員会、農業委員会の所管に属する事項

議会広報広聴常任委員会



熊田 司 木場 徹 長船吉博
印部久信 ◎吉田良子 ○蛭子智彦

【所管事務】 広報活動、広聴活動、議会広報紙、議会報告会に関する事項

議会運営委員会

◎川上 命 ○原口育大 蛭子智彦 印部久信
阿部計一 熊田 司

【所掌事務】 議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項

議長就任挨拶

より身近で開かれた議会を めざして



小島 一 議長

この度、定数2名減となった中で、議員の改選により、18名の新しい議員が決まりました。その中で第9代議長に就任させていただきます。身之余る光栄と存じております。選挙期間中に多くの市民から寄せられたご意見、要望などを深く受け止め、市民の皆さんに愛され、信頼される議会を目指して頑張ります。

さて、経済はアベノミクス効果により、株価も上昇し、デフレという言葉が消えつつありますが、南あわじ市においては、なかなかその実感が感じられず、また、少子高齢化にも歯止めがかかっていません。南海、東南海地震による津波被害については、兵庫県の想定予測が発表され、市として防災計画の見直しが急

がれるところでありま
す。こうした数多くの
課題が山積する中で、
議会の役割として、執
行機関に対する監視機
能や、政策形成機能の
充実強化が求められて
います。市民の皆様の
意見を反映するために
も、より身近で開かれ
た議会を目指して精一
杯取り組んでまいり所
存です。

市民の皆様方には、
南あわじ市発展のため
に今後より一層のご指
導、ご鞭撻をお願い申
上げまして、議長就
任の挨拶といたします。



熊田 司 副議長

常任委員会を再編 議会委員会条例の一部改正

■議案内容

総務、文教厚生及び産業建設の3常任委員会を総務建設と産業厚生2常任委員会に再編し、委員会の定数をそれぞれ9名とする。また議会運営委員会の定数を7名から6名

■提案理由

議員定数が20名から18名に削減されたことに伴い改正。

■議決結果

賛成多数で原案可決

11月臨時会の日程

- 11月19日 本会議1日目
(議長・副議長の選挙、議案上程ほか)
- 11月20日 総務建設常任委員会
(議案審査)
- 11月20日 本会議2日目
(採決ほか)

改選後、初めての本会議となる第50回南あわじ市議会臨時会が11月19・20日に開かれました。議長・副議長選挙、常任委員・議会運営委員の選任などを行いました。また、市長より提出された議案3件と議会からの議案1件が上程されました。

12月定例会の日程

- 12月2日 定例会1日目(議案上程ほか)
- 〃 6日 定例会2日目(一般質問)
- 〃 9日 定例会3日目(一般質問)
- 〃 10日 定例会4日目(一般質問ほか)
- 〃 12日 総務建設常任委員会(議案審査)
- 〃 16日 産業厚生常任委員会(議案審査)
- 〃 18日 定例会5日目(採決ほか)

第51回南あわじ市議会定例会が12月2日から18日の会期で開かれ、市長から提出された一般会計補正予算など議案24件、人事案件2件、また議会からは請願2件、意見書1件が上程され審議が行われました。各議案の内容と主な質疑及び採決の結果をお知らせします。

「食の拠点」実施設計料、学生用共同住宅整備補助金などの補正予算を可決

淡路市の簡易水道を企業団に統合

淡路広域水道企業団規約の変更

■議案内容

淡路市が経営する5つの簡易水道事業を平成26年4月1日より淡路広域水道企業団に統合する。

■主な質疑

問 平成22年度の水道企業団統合時ではなく、なぜ今の時期に統合するのか。

答 当時は整備状況が整わなかったが、今回状況が整ったので統合する。

■委員間討議

● 今回の統合は淡路市で借金を残したままの統合であり不信任感がある。統合までに借金を減らすなど淡路市で対応できることはやって欲しい。

■議決結果

賛成多数で原案可決

新庁舎工事費7千万円を追加
25年度一般会計補正予算(第6号)

■議案内容

一般会計の歳出に、新庁舎建設予定地に出たフツ素土壌の搬出・処理費用7千万円を追加する。

■主な質疑

問 残土は全て場外処理としているが、土壌改良という方法もあったのでは。

答 工程に影響してくるので出来ない。
問 海上輸送の検討は。
答 3千万円ほど海上輸送の方が高つく。

問 発注を地元業者にという考えは。
答 工程に影響してくるので出来ない。

■委員間討議

● 今後工程の中で重大なことが起きれば委員会に逐次報告するように。

■議決結果

賛成多数で原案可決

問 搬出時の飛散防止対策は。
答 不適合土壌搬出用の資格車両での搬出。

その他の人事案件

- 兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員 選挙 当選
- 川上 命 (市議会議員)
- 洲本市・南あわじ市 衛生事務組合議会議員 員選挙 当選
- 谷口博文 (市議会議員)
- 木場 徹 (同)
- 印部久信 (同)
- 阿部計一 (同)
- 川上 命 (同)

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

■議案内容 期末手当の支給の際、国との人事交流において本市に派遣され、特別職となった場合にも国家公務員として在職していた期間を支給の算定期間に算入する。

■主な質疑 問 期末手当の支給の際には、実質の働いた期間に応じて支給されるべきではないか。

■議決結果 答 国と本市との人事交流で、一般職の場合には国での在職期間を通算することは出来る。今回は、一般職から特別職への人事交流なので、一般職の例により改正するもの。

■議決結果 賛成多数で原案可決

議決結果一覧

議長(小島 一)は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席、除は除斥)

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否															
			中村三千雄	川上命	阿部計一	登里伸一	北村利夫	砂田果洋	柏木祐治	森上久信	印部久信	長船吉博	吉田良子	廣内孝次	木場徹	谷口博文	原口育大	熊田智彦
市長	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	監査委員の選任(北村 利夫 議員)	同意	×	×	○	○	除	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
市長	南あわじ市・洲本市小中学校組合議会議員の選任	吉田 良子 議員	同意	×	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	
		印部 久信 議員	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		阿部 計一 議員	同意	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		中島 義晴 氏	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		多田 宗儀 氏	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員	議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		

「食の拠点」実施設計料などの予算を追加 25年度一般会計補正予算(第5号)

■議案内容

一般会計に歳入歳出それぞれ14億9819万8千円を追加する。

■主な質疑

▼食の拠点施設実施設計業務委託料 1100万円

問 食の拠点施設実施設計業務委託料について事業運営主体が確定していない中での見切り発車では。
答 農協は平成26年1月に理事会に提案。各農水産団体が6月総会を受けて、新会社を設立する予定。

問 民間への影響は。

答 農振興策ととらえて市内の活性化をめざす。

▼保育士等処遇改善臨時特例事業補助金 474万5千円

問 補助金の目的は。

答 民間保育士の人材確保のため賃金の官民格差を是正する。

▼学生用共同住宅整備事業補助金 1500万円

問 入居は、あくまで学生のみか。
答 原則は市内の大学に在籍または在籍予定の



▲市内の新鮮な野菜などを販売する産直市



▲平成25年4月に開学した吉備国際大学南あわじ志知キャンパス

学生。要綱で3分の2以上は学生、3分の1は一般入居も可。実績報告により補助金の返還もある。

問 補助金返還の取り決めが重要ではないか。
答 経営が成り立たない場合もあるが、担当課と協議したい。

▼操法場新設工事費 2300万円

問 新庁舎前の公園に消防操法場を新設することであるが、各消防団の意見、要望は聞いているのか。

答 団長などには報告しており、消防団としての意見は聞いている。
■修正理由 食の拠点施設は、まだ事業主体が決まっておらず、また、農協での議論も結論を得ていない中での実設計の予算化は性急に過ぎる。

議員より修正案

食の拠点施設実施設計

■議決結果 修正案は否決。原案については賛成多数で可決。



▲新庁舎前に新設される操法場

剰余金 1億円を基金へ 25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

■議案内容

保険事業勘定の歳入歳出それぞれに3億858万円を追加する。

■主な質疑

問 前期高齢者交付金が、約8600万円の減額となる理由は。
答 当初予算は平成24年度分を基準としたが、精算により減額した。

問 基金積立の基準は、保険給付費などの

5%程度を基金に積み立てる。
問 一般会計からの繰入金を使って、国保税の引き下げをすべきではないか。
答 今、国保財政の安定を考慮し、考えていない。

■討論

反対 蛭子智彦議員

■討論要旨

剰余金3億3160万円の内1億円を基金に残すのであれば、現在たいへん厳しい生活の中、高い国保税に苦しむ市民を少しでも助けるために、それを財源として税の引き下げを断すべきだ。

■議決結果

賛成多数で原案可決

基金積立金 4694万円を増額 25年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

■議案内容

保険事業勘定の歳入歳出それぞれ5652万5千円を追加する。

■主な質疑

問 基金積立金と介護保険料の引き下げはどのように関係するのか。
答 介護保険料は3年間の被保険者数、認定

者数、介護給付費総額、地域支援事業、保険料収入、調整交付金などの見込みを立てたうえで保険料を決定する。

■議決結果

賛成多数で原案可決

25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

■議案内容

歳入歳出それぞれ6772万8千円を追加する。

■主な質疑

問 次回の保険料の見直しは。
答 保険料は2年に1度改定することになっ

ており、平成26・27年度の保険料については、平成26年2月の兵庫県後期高齢者医療広域連合議会にて決定される予定。

■議決結果

賛成多数で原案可決

健康増進計画及び食育推進計画策定委員会条例制定

■議案内容

健康増進法と食育基本法に基づき、同委員会を設置する。平成26年4月1日より施行。

■主な質疑

問 健康増進計画と食育推進計画はそれぞれに進めてきた計画であるが、今後は合体し進めていくのか。
答 選考委員の同意を得た上で可能であれば公表する。

■議決結果

賛成多数で原案可決

指定居宅介護支援事業を廃止 訪問看護ステーション条例の一部改正

■議案内容

南あわじ市訪問看護ステーションが実施する指定居宅介護支援事業を平成26年4月1日より廃止する。

■主な質疑

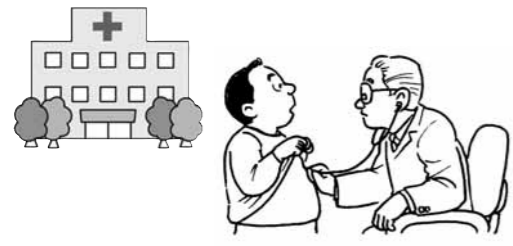
問 廃止で利用者など

に影響はないか。

答 実状として市内の民間事業者が充足しており、平成23年度より実質休止状態であったので、今回の改正に至った。

■議決結果

賛成多数で原案可決



消費税増税などに伴う 条例改正

消費税法の一部改正により、平成26年4月1日から消費税率が8%へと引き上げられることに伴う条例改正。

▼公共下水道条例の一部改正

■議案内容
使用料の消費税額を内税から外税方式に変更する。

■議決結果
賛成多数で原案可決

▼廃棄物処理手数料徴収条例の一部改正

■議案内容
処理手数料の変更。

■主な質疑
問 現在の基金積立額は、いくらあるのか。

■議決結果
賛成多数で原案可決

▼国民宿舎使用料条例の一部改正

■議案内容
利用料の変更。

■主な質疑
問 改正による利用者の負担増は。

■議決結果
賛成多数で原案可決

新庁舎建設外構工事請負契約の締結

■議案内容

新庁舎建設外構工事を株式会社宮本土建と2億4829万2千円で契約。

■主な質疑

問 緑条例の適用は。
答 緑条例に準じた緑化計画になっている。

■議決結果
賛成多数で原案可決



▲平成27年4月に開庁予定の新庁舎のイメージ

企業団地の土地を売却

財産の処分(企業団地)

■議案内容

企業団地(榎列上幡多)の土地の一部(約5千㎡)を5920万7千円で、石栄丸株式会社に売却する。

■議決結果
賛成多数で原案可決

■主な質疑

問 企業団地の土地の価格変動は。

茶屋池線道路新設改良工事(第2工区)請負変更契約の締結

■議案内容

茶屋池線道路新設改良工事(第2工区)費に1313万4450円を追加する。

■議決結果
賛成多数で原案可決

■主な質疑

問 工事に伴い、地元が管理する道路が損傷した場合は、どうするのか。



介護予防給付の要支援者除外に反対する請願書

請願は採択され、国に意見書を送付

■請願者

新日本婦人の会
三原支部
代表者：堀井厚子氏

■紹介議員

蛭子智彦議員

■請願内容

要支援者に介護予防給付を行ってきたサービスを介護保険から市町村で行うことに対して反対。今までもおり介護保険給付で実施を求める。

■主な質疑

問 持続可能な制度として、介護制度を存続させていくためには、消費税増税と合わせて介護保険制度の見直しも必要ではないか。

■答 消費税増税により国民はすでに負担を感じており、日常生活に

国に対し消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願書

請願は、不採択

■請願者

新日本婦人の会
三原支部
代表者：堀井厚子氏

■紹介議員

吉田良子議員

■請願内容

消費税増税中止を求める意見書を政府に提出することを求める。

■主な質疑

問 制度改革は社会保障と税の一体改革のバランスなど総合的に判断してやむを得ないのでは。
■答 消費税増税分が社会保障に充てられるのか不安がある。

■委員間討議
●次の世代のことを考え、応分の負担はや

請願とは

国や地方公共団体の事務に意見や要望があるときは、誰でも「請願」や「陳情」の文書を市議会に提出することができます。

議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」といいます。市議会に提出された「請願」は委員会で審査したうえで、本会議で採択するかどうかを決定します。

採択された「請願」は、必要に応じて関係機関に送り、その実現を図ります。

※詳しくは、議会ホームページをご参照下さい。

■議決結果
賛成少数で不採択

一般質問

市政を問う

12月6日・9日・10日の3日間にわたって、13人の議員が一般質問を行いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法

市ホームページ ➡ 南あわじ市議会ホームページ ➡ [録画放送](#)

※20ページを参照下さい。

議決結果一覧

議長(小島 一)は表決に加わらない。
(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席)

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否																
			中村三千雄	川上命	阿部計一	登里伸一	北村利夫	砂田果洋	柏木剛	森上祐治	印部久信	長船吉博	吉田良子	廣内孝次	木場徹	谷口博文	原口育大	熊田智彦	蛭子智彦
市長	損害賠償額の決定及び和解の専決処分 (10月3日発生 of 市営住宅の換気筒脱落事故)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	25年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
市長	”(修正案)	否決	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	
市長	25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
市長	25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	25年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	25年度訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	25年度産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	25年度ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
市長	25年度下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
市長	地方税法の改正に伴う関係条例の整理	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	市営住宅条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公共下水道条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
市長	廃棄物処理手数料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
市長	介護保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	訪問看護ステーション条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	健康増進計画及び食育推進計画策定委員会条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	国民宿舎使用料条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
市長	淡路広域水道企業団規約の変更	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	新庁舎建設外構工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
市長	茶屋池線道路新設改良工事(第2工区)請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	字の区域の変更(倭文、市地区)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	25年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
市長	財産の処分(企業団地)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	損害賠償額の決定及び和解 (11月11日発生 of 給食配送車事故)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	人権擁護委員候補者の推薦(松坂壽仁氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	人権擁護委員候補者の推薦(芝 壽郎氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	国に対し消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
請願	介護予防給付の要支援者除外に反対する意見書の提出を求める請願書	採択	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
産厚	介護予防給付の要支援者除外に反対する意見書	原案可決	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

・産厚＝産業厚生常任委員会

イノシシ対策は、行政の責任で

日本共産党 蛭子 智彦 議員

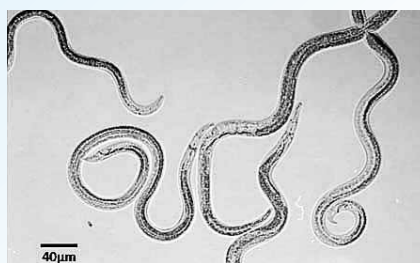
住民の意向に沿って合併浄化槽への助成を

問 高屋沖田、戒旦寺の下水道について地元住民の意向を尊重して合併浄化槽を選択できないのか。
下水道部長 計画の見直しの時期に来ているので住民合意があれば可能。
問 地元住民への丁寧な説明を望む。
下水道部長 細かい説明をする。

問 イノシシ被害撲滅へ集中的取り組みをイノシシの被害



は農家の責任では無い。これ以上被害が拡大すると離農が増え、田畑は荒れ災害にもつながる。対策を抜本的に強化するよう求める。
市長 捕獲頭数を増やし、施設整備も進めていく。担当部とも相談してできるだけ広い取り組みを行いたい。
問 この夏の被害は特別にひどかった。750万円の補正予算が付き対策を強化するようになっていくが、どのように行うのか。
教育部長 現在枯れている松を速やかに



▲マツクイムシの線虫(独森林総合研究所)

伐倒撤去することが目的。
問 根上がり松など大径木、銘木の枯死が心配される。徹底的な対応を望む。
教育部長 整備委員会とも協議して前向きに対応を進めたい。
西淡庁舎を 残すべき
問 税、福祉、防災の観点から西淡庁舎を存続すべき。
市長公室長 そのようには考えていない。

無所属 木場 徹議員

みんなの幸せと 過疎化の対策について



問 みんなの幸せに ついて。
市長 5万市民全員が福祉の充実を受けたり、幸せな日常生活や権利主張が出来る取り組み。
問 選択と集中について。
市長 公共事業は、地域によっては、地域の思いが反映されていないが、今後、自治会・議会・市民の思いを出来るだけ集約していきたい。
問 松帆地区の圃場整備と低地対策の推進について。
農業振興部長 排水
財務部長 検討委員会から早期に提案頂くよう働きかける。
問 県道整備について。
市長 地権者、地域の人にも力を借りて



▲早急な道路整備が求められる(丸山バイパス)

政真クラブ 柏木 剛議員

新庁舎について



問 国道からの進入路の右折だまり対策及び総事業費は。
都市整備部長 右折だまりを確保する。総事業費は約2億円。
オニオンロードについて
問 茶屋池線の状況は。
都市整備部長 26年前半に橋、道路は完了。国道接続は27年前半の見込み。
問 本道の未整備3箇所の用地交渉難航しているが、打開策は。
農業振興部長 農道につき地権者の同意
食の拠点について
問 状況は。
農業振興部長 第1期工事で直売所、レストラン、情報発信基地を建設。現在、測量調査業務の実施を行い、27年3月完成を目指している。
問 総事業費は、市の負担は。
農業振興部長 第1期工事は約8億円、国の補助金が2億7000万円。残りを合併特例債活用で市の実質負担額は1億9600万円と試算。
問 運営主体は。
農業振興部長 農水産団体で組織する新会社を設立したい。
問 規模は。
農業振興部長 敷地面積9578㎡、建物面積1692㎡、2階レストラン部分415㎡、席数140席。
問 事業面は。
農業振興部長 客数50万人、売上9億円を損益分岐点と考えている。
問 新規雇用は。
農業振興部長 約30名。
問 養宜川改修は。
農業振興部長 大雨時の氾濫対策もあり、蛇行を改良する線で洲本土木事務所、土地改良事務所と協議中。



▲建設が進む茶屋池線 国道とオニオンロードを結ぶ

市民連合・無所属クラブ 印部 久信議員

矢谷副市長就任の経緯と 政治姿勢について



▲農業振興を強く期待

問 3月議会にて副市長2人制を提案され、9月議会にて同意され、今日に至っている。中央省庁のどの部局に招聘されたか。
市長 面識のあった農林水産省の皆川事務次官にお願いした。
問 矢谷副市長はどこから話が来たか。
矢谷副市長 農林水産省官房の地方課長よりあった。
問 南あわじ市の印象は。
矢谷副市長 農業・漁業・観光などの資源が豊かであった。
問 南あわじ市の印象は。
矢谷副市長 TPPについてはどのように理解しているのか。
矢谷副市長 TPPは高い水準の自由化が目標とされ、関税が撤廃された場合、資源を活用して市の発展に貢献したい気持ちである。
問 農業団体・漁業団体・瓦組合などの決算書を見たのか。
矢谷副市長 決算書はまだ見ていないが、各組合長より現状は聞いている。
問 TPPについてどのように理解しているのか。
矢谷副市長 TPPは高い水準の自由化が目標とされ、関税が撤廃された場合、資源を活用して市の発展に貢献したい気持ちである。
問 農業団体・漁業団体・瓦組合などの決算書を見たのか。
矢谷副市長 決算書はまだ見ていないが、各組合長より現状は聞いている。
問 TPPについてどのように理解しているのか。
矢谷副市長 TPPは高い水準の自由化が目標とされ、関税が撤廃された場合、資源を活用して市の発展に貢献したい気持ちである。

ゆづるはクラブ 原口 育大議員

職場での、しんぶん赤旗日曜版の購読について



総務部長 配布物を受け取ることで自らは職務専念義務違反ではないと考える。ただし、受け取ったときが勤務時間中であり、その新聞を勤務時間中に読むという事になれば職務専念義務に違反する。
問 市民の目もある、私物である新聞は自宅に配達されるべきではないか。
総務部長 原則的には自宅に配達されるべき。
問 自宅への配達に切り替えるように指導を。
川野副市長 職員に話をしてみたい。
安心安全なまちづくりについて
問 危機管理担当の役割を置く必要性は。
総務部長 新庁舎完成時に危機管理部長を配置する予定。
問 河床が浅くなっている、昔の深さまで浚渫を。
都市整備部長 河道断面を確保するように努めている。
問 総合治水対策の一つとして「田んぼダム」を推進してはどうか。
農業振興部長 所有者、管理者の同意のもとに推進していきたい。
問 介護サポーターポイント制度の導入を。
健康福祉部長 検討
第一次産業の振興をしたい。
問 後継者、新規就農者の育成は。
農業振興部長 各地区で人農地プランを作成して中心経営体の確保に努めていた。
問 認定農業者や新規就農者、集落営農、青果業、アグリアイランドも中心的経営体に含まれる。
問 耕畜連携の必要性は。
農業振興部長 耕畜連携なくしては産地の維持はできない。飼料用米・WCSなどの飼料作物を推進していきたい。



▲水田への雨水一時貯蓄機能に着目した「田んぼダム」

市民連合・無所属クラブ 北村 利夫 議員

行政運営について

問 人口減少社会の影響などは何か。
総務部長 お年寄りなどを支えるのに負担が重くなってくる。人口減によって採算割れ路線の廃止、空き家の増加、商店の廃業などで行政負担が増える状況になるが。

総務部長 行政の務めとして、地域の活性化を図る努力はしていく。

問 人口減で総合計画の5万人目標人口のまちづくり、過大投資にならないか。
市長公室長 行政需要が増え、歳入が減

健康福祉部長 2040年市の高齢化率42.5%と推測限界集落も増える。

問 高齢化社会を見据えたまちづくりが待たない。人口減少・超高齢化社

市長 高齢者・障がい者をいかなる局面がきても支えていけるように考える。これが自治体行政の役割だと思ふ。

問 高齢化社会を見据えた行政サービス、他の自治体に先駆けて、構築していただきたい。

るようであれば、見直しもやむを得ないと認識している。

問 24年4月1日現在7限界集落、92準限界、自治会の約半数が限界集落の予備軍、後10年もすると市全体が限界集落予備軍になる。この現状をどのように、受け止めているのか。



▲高齢者によるボランティアでの花壇整備

無所属 谷口 博文 議員

社会基盤について

問 県の事業計画の津波・防災5ヶ年計画並びに三原川河川改修、低地対策などの事業を県知事にとどのように要望されたか。
市長 津波防災の関係では当然県も南海トラフ地震の国のデータなどを踏まえ、一番大きな被害が予想される福良湾、阿万、沼島、西海岸などの防波堤・防潮堤などを研究している。

低地対策では工事費約60億円、入貫川排水機場も完成した。孫太川、倭文川の機場については長寿命

三原川河川整備計画は大きな事業であり絶えず強く要望し、何としても早いうちに大日川、三原川などを改修する。

低地で心配されている市民の不安解消を1日も早く図るべく整備の充実をしていきたい。それらは順次計画を進めたい。

問 本四連絡道路の来年4月から料金体制の見直し、総合治水条例、三原川下流河口域

の両岸堤の改修補強並びに橋・ダム・道路・港湾・河川・パレットなどの耐震強化推進について、宝明寺川排水ポンプ設置、主要県道の拡幅、三原川河川堤防の改修について質問をしました。



▲入貫川排水機場

ゆるはクラブ 森上 祐治 議員

有害鳥獣の根本的な対策を

問 市や県の懸命な努力にもかかわらず、事態は好転していないように思えないのはなぜか。
農業振興部長 『個体の削減』『防護柵』『補償』の3本柱に力を入れてきたが、柵を設置していない所で被害が拡大している状況だ。

問 万全な柵の設置は農業者だけで出来るのか。
農業振興部長 地域ぐるみで取り組む必要がある。鳥獣被害は環境をも害することを地域、自治会全体が認識してもらいたい。

問 同感だが出来るのか。
農業振興部長 すでに市内でも優良事例がある。

問 他に課題は。
農業振興部長 野菜残さの問題。田んぼに放っておくとシカにとつて良い餌になっている状況がある。

問 市外の知人で、この度、捕獲免許を取った。環境保護の観点からだが、総額4万6000円要った。このうち市の補助は1万2000円だけ。もっと手厚い補助は。またこんな形で取得した人には狩猟税の減免を検討すべき。

問 市での進捗状況について。
教育部長 公共施設の跡地利用や4地域の皆さんのそれぞれ思いを考慮し、統合場所は旧辰美中学校跡地で進める事とし、9月の議会で説明した通り今後においても議論を尽くして合意を得る為、協議を進めていきたい。

問 辰美中跡地が教育環境が悪いと多くの方が言っているがこのことについて。
教育部長 やはりある程度、いろんな人の意見を聞いて判断

をしながら進捗を要する。すなわち全面的な施設改修でない。三原川河川整備計画は大きな事業であり絶えず強く要望し、何としても早いうちに大日川、三原川などを改修する。

低地で心配されている市民の不安解消を1日も早く図るべく整備の充実をしていきたい。それらは順次計画を進めたい。

問 本四連絡道路の来年4月から料金体制の見直し、総合治水条例、三原川下流河口域

をして方向性を示す。そういうことが必要でないかなということは十分認識をしている。

教育長 建設場所とというのは非常に皆さんの関心が高いこと。これにはやはり慎重に4地域の思いを聞き、しかし100%皆さんが納得できる場所というのはこれはない。

今後の地域の声をしっかりと聞いて、場所を決定をしたいと思うので少し時間をいただきたい。

問 湊、志知の幼稚園を総合計画の中でどのように考えているのか。
教育長 現在の再編基本計画では、湊、志知というのが計画

の中には位置づけられていない。3歳児未満の保育や、夏休みの対応などいろいろな問題がある。

今後、湊、志知これらについても保護者の皆さんの思いと対応するような取り組みが必要であり、今後の問題として考えていきたい。



▲狩猟の光景

政真クラブ 川上 命 議員

辰美校区の4園の統合について

問 今日までの進捗状況について。
教育部長 公共施設の跡地利用や4地域の皆さんのそれぞれ思いを考慮し、統合場所は旧辰美中学校跡地で進める事とし、9月の議会で説明した通り今後においても議論を尽くして合意を得る為、協議を進めていきたい。

問 辰美中跡地が教育環境が悪いと多くの方が言っているがこのことについて。
教育部長 やはりある程度、いろんな人の意見を聞いて判断

をしながら進捗を要する。すなわち全面的な施設改修でない。三原川河川整備計画は大きな事業であり絶えず強く要望し、何としても早いうちに大日川、三原川などを改修する。

低地で心配されている市民の不安解消を1日も早く図るべく整備の充実をしていきたい。それらは順次計画を進めたい。

問 本四連絡道路の来年4月から料金体制の見直し、総合治水条例、三原川下流河口域

をして方向性を示す。そういうことが必要でないかなということは十分認識をしている。

教育長 建設場所とというのは非常に皆さんの関心が高いこと。これにはやはり慎重に4地域の思いを聞き、しかし100%皆さんが納得できる場所というのはこれはない。

今後の地域の声をしっかりと聞いて、場所を決定をしたいと思うので少し時間をいただきたい。

問 湊、志知の幼稚園を総合計画の中でどのように考えているのか。
教育長 現在の再編基本計画では、湊、志知というのが計画

の中には位置づけられていない。3歳児未満の保育や、夏休みの対応などいろいろな問題がある。

今後、湊、志知これらについても保護者の皆さんの思いと対応するような取り組みが必要であり、今後の問題として考えていきたい。

その他、道路問題について質問をしました。



▲辰美校区4園の統合場所として検討されている旧辰美中学校

日本共産党 吉田 良子 議員

国民健康保険税の引き下げについて



問 日本共産党がおこなった生活アンケートで、国保税、介護保険料が高いとの回答が、46%と高いとの声が寄せられている。国保の加入率は、**健康福祉部長** 32%**問** 県下で高い率である。加入者の所得状況は。**市民生活部長** 所得ゼロの人は17%、所得100万円以下の人26%。200万円以下は22%で累計では65%である。**問** 滞納世帯の所得状況はどうか。**市民生活部長** 所得

が100万円未満が39%、100万円から200万円が12%。**問** 固定資産割について、見直す必要があるのではないかと。市民生活部長 一気に見直すということではないが認識している。**問** 国保加入者1人当りの医療費はどうか。**健康福祉部長** 県下で40番目、2番目に低い。**問** 国保税はどうか。**健康福祉部長** 県下で3番目に高い。**問** 医療費は低いのに国保税が高い。この矛盾は誰しも納得いかない。国保税引き下げのため



▲健やかに育てと願う

に一般会計からの繰り入れをすべきではないか。

市長 社会保険加入者からの意見もあり、場面、場面で考えていく。**問** 子どもの医療費助成を中学校3年生まで入院だけでなく通院費も無料にしてはどうか。通院費を無料にすれば予算はどれだけ必要か。**健康福祉部長** 年間で600万円。3月議会での議員からの質問もあり、無料にする指示を市長から受けている。

無所属 登里 伸一 議員

松帆櫛田・北浜地区の低地排水対策について



問 平成25年も既に3度の冠水被害にあった。総ての住民が安全・安心を求め、施策の展開に期待している。地区住民は、低地対策住民会議の内容を、十分理解しているか。**市民生活部長** 倭文川右岸堤防下を流れる宝明寺川は、最後に倭文川の川底を右から左に滞り、倭文川排水機場で強制排水している。現場管理者は、川底の下を横断している断面が小さい。大雨・台風時にはもう1台ポンプが欲しいとの

こと。対応できないか。不可なれば発想を転換し、地下に川を作って古津路地区の排水を合わせ、その海岸近くで強制排水できないか。**都市整備部長** 各地区4〜5名が代表されてきているので、地域の方々も理解している。また現状で河道断面の確保が出来るよう、土砂の浚渫を常に県へ強く要望している。**地下河川**の考えは、市側からは言えない。関係地元への対応・協議で図られる



▲大雨・台風時の倭文川右岸外側冠水状況

べきものである。**問** 県道で丸山〜湊間の改良工事は、丸山バイパス第3工区で行き詰り、約10年凍結された。何を言ってもやってくれない。湊登立のカーブ・津井伊加利線改良工事も、各1人の地権者の為にこれ以上は進まない。現状認識に間違いはないか。**都市整備部長** 全くその通りである。

教育環境の充実を望む



問 タブレット機器を使った授業に取り組んでいく考えはあるか。**教育部長** 今のところ、市ではなく、教員個人の努力で研究をしているところである。将来的には市の予算で行わなければならないと考えている。まず、全学校に導入している大型デジタルテレビや電子黒板、書画カメラなどの電子機器の活用を図りたい。**問** 親の経済格差が子供の教育格差につながる。市として対応すべき

ではないか。**市長** 市のかかわっている小学校、中学校では、格差のない教育環境を作るべきである。ただ、学力ばかりでなく、人間性を育む教育に前向きに取り組んでほしいと求めている。**問** 学校図書館の充実を図るために、図書館司書を配置してはどうか。**教育部長** 県費負担の教職員配置は、県教委が行っており、図書館司書配置の例はない。市内には、司書教諭のいる学校



▲タブレット機器

公明党 熊田 司 議員

市民交流センターについて



問 市民交流センター21カ所運営するための人件費は。**市長公室長** 21地区で年間1億円弱程度。**問** 設置すると廃止は難しいから箇所数の検討を望む。**観光振興について****問** 南あわじ市総合計画後期基本計画の観光振興策は進んでいるのか。**産業振興部長** メディアを使ったり観光業者と連携し情報発信をしている。民間ではできない部分を手伝える。

問 への観光客の年間への参拝者数は。**産業振興部長** 9万8600人。**問** 観光客のため複列高速バス停からこのころ島神社までの三原川の右岸道路をインターロッキング舗装、化粧手すり、街灯の設置など周辺整備は出来ないか。**都市整備部長** 通行量から難しい。**問** だんじり祭りをおのころ島神社が榎列公民館で行うのは出来ないか。**教育部長** 神社での経緯があるが、警備の状況、広さ、交通の便で健康広場が良い。**問** おのころ島神社の整備に、



▲おのころ島神社周辺の整備を

政真クラブ 廣内 孝次 議員

中田治吉氏が数億円寄贈され地域の発展を願ったと考えるが。**市長** 神社に願をかけ一人前になれたので、私財を整備に使いたいと取り組まれた。**問** 隠れた観光資源が数多くあるので宣伝だけで観光客の増加を図ることが出来る。南あわじ市総合計画後期基本計画に示されているとおり、実施を望む。

「政務活動費」25年度(4月~11月)分 実績報告

政務活動費は、議員の審議能力及び政策立案能力の強化を図るため、調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。
交付金額は、1人あたり月額12,500円として、会派に交付しています。
25年度(4月~11月)の実績一覧表は下記のとおりです。詳細は市ホームページ、または閲覧用書類(議会事務局に設置)をご覧ください。
※改選の為、4月~11月の実績となっております。

(単位:円)

Table with columns: 会派名(人数), 交付額, 執行額 (調査研究費, 研修費, 広報広聴費, 要請・陳情活動費, 会議費, 資料作成費, 資料購入費, 事務費, 計), 返納額. Rows include various clubs and parties like ゆづりはクラブ, 市民連合・無所属クラブ, etc.

注) 交付申請のない会派には交付していません。使われなかった残金は市に返納されます。交付額を超えた分は支給していません。

第52回南あわじ市議会臨時会が12月25日に開かれ、市長より提出された議案1件について審議が行われました。議案の内容と主な質疑及び採決の結果をお知らせします。

12月臨時会の日程
12月25日 本会議(議案上程ほか)
// 総務建設常任委員会(議案審査)
// 本会議(採決)

フッ素土壌の搬出・処理費用を追加
新庁舎建設工事請負変更契約の締結

【議案内容】 新庁舎建設予定地のフッ素汚染土壌の搬出・処理費用6961万6800円の追加に伴う工事請負業者との変更契約。
【主な質疑】 搬出せず場内処分できたのでは。
【議決結果】 賛成多数で原案可決

議決結果一覧

Table showing the decision results for the proposed motion. Columns include the proposer (市長), the motion name, the decision result (原案可決), and the voting status of each council member (賛成, 反対, 欠席, 退席).

議長(小島 一)は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席)

12月 議会活動日誌
10日 議会定例会(4日)
9日 議会定例会(3日)
7日 民生委員児童委員等感謝状授与式及び辞令交付式(議長)
6日 議会定例会(2日)
5日 老人クラブ連合会親善ゲートホール大会(議長)
2日 議会定例会(1日)
1日 老人クラブ連合会幹部研修会(副議長)
30日 アジア国際子ども映画祭(全議員)
29日 年末特別警戒発隊式(議長)
28日 11月例会
27日 淡路地域づくり懇話会(議長)
26日 淡路政経懇話会
25日 市小中学校組合議会臨時会
24日 南あわじ市洲本隊式(議長)
23日 淡路広域消防事務組合現金出納検査並びに定期

10月 議会活動日誌
10月12月の議会の活動状況について次のとおり報告します。
10日 政友会総会(議長)
9日 津波防災フォーラム2013(全議員)
8日 暴力追放・安全安心まちづくり市民大会(全議員)
7日 食と文化の市民まつり(議長、議長、各常任正副委員長)
6日 連合PTA家庭教育フォーラム(議長)
5日 兵庫県畜産共進会(議長)
4日 淡路高等学校創立90周年記念式典(議長)
3日 淡路広域消防事務組合現金出納検査並びに定期

第53回南あわじ市議会定例会日程

◆開会は午前10時～

	会議日	会議内容(予定)
第1日	2月25日(火)	1.平成26年度施政方針表明 2.平成26年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計予算上程(説明) 3.条例案上程(説明、質疑、委員会付託) 4.平成25年度南あわじ市一般会計、特別会計補正予算上程(説明、質疑、委員会付託) 5.その他の案件上程(説明、質疑、討論・表決<一部>、委員会付託)
第2日	2月26日(水)	
第3日	3月3日(月)	
第4日	3月4日(火)	
第5日	3月6日(水)	
第6日	3月7日(金)	1.一般質問 2.平成26年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計予算(質疑、委員会付託) 3.追加議案上程(説明、質疑、討論・表決<一部>、委員会付託)
(予備日)	3月11日(火)	
第7日	3月25日(火)	1.付託案件委員会審査報告(質疑、討論、表決) 2.追加議案上程(説明、質疑、討論、表決)



	会議日	会議内容
委員会	3月18日(火) 午前10時	総務建設常任委員会
	3月19日(水) 午前10時	産業厚生常任委員会

※平成26年度予算は、予算審査特別委員会を設置し審査を行います。
審査の日程は、予算審査特別委員会設置後、3月12日(水)・13日(木)・14日(金)・17日(月)で調整を行う予定です。

閲覧方法

議会がぐっと
ちかくなる。
議会ホームページが充実しています!

- 南あわじ市ホームページを開く
南あわじ市
- 南あわじ市ホームページから「南あわじ市議会」をクリック
- 南あわじ市議会ホームページへ

- 会議録が全部見られます。
本会議や委員会(一部を除く)の会議録を公開しています。
- ご自宅で傍聴できます。
本会議や委員会(一部を除く)をインターネットで生放送しています。
①「議会インターネット中継」をクリック
②再生ボタンをクリック
- 一般質問の動画が見られます。
過去1年分の一般質問の様態を、録画配信しています。

編集後記

10月に議会選挙が行われ、新たに18名の市議員が決まりました。表紙は、市民に身近な議会となるよう議場の様子を写しています。市民の皆さんが議会の傍聴に來られた時は、受付を済ませ、傍聴席に入って頂きます。議場では、議員の質問に対して市長、部長らの臨場感あふれたやりとりを聞くことができます。議会広報は、その様子を少しでも皆さんにお伝えする為の一同努力してまいりますので、どうか宜しくお願いします。

また、上記には3月議会の日程のお知らせをしています。3月議会は、予算議会とも言われ新年度予算を審議することになります。

是非議会の傍聴にお越し下さいませ、お願い申し上げます。(吉田)

南あわじ市議会だより 発行/南あわじ市議会 編集/南あわじ市議会広報広聴常任委員会 TEL:0799-435005 FAX:0799-435105